

神経活動可逆的不活性化装置

近赤外レーザー光が、可逆的に神経活動を数分以内に不活性化する有効な方法として開発されました。神経研究分野においては従来より、神経細胞群を破壊切断、または活性化を抑制する薬物を使用する方法がとられてきましたが、神経機能の回復が遅い、薬物注入の有効時間、領域を限定できないなどの大きな欠点がありました。

本装置は単一ユニットの記録時間が限られた実験などでの可逆的にすばやく神経活動を不活性化したい場合などに有効に利用できます。



標準付属品:

100 μ m ファイバー (長さ1.5m)
 コリメータレンズ
 パワーメータ
 (レーザー光 強度測定用)

オプション:

50 μ m、200 μ m、400 μ m
 ファイバー (長さ1.5m)

参考文献

- 土居 節、力丸 裕 (2005) “スナネズミ聴覚野FM音に対する神経活動パターン” 日本音響学会聴覚研究会資料 vo135,2005
 川崎 敏生、力丸 裕 (2004) “スナネズミ聴覚ニューロンの反応に及ぼす近赤外レーザー照射の影響: 少数例による予備実験結果” 日本音響学会聴覚研究会資料 H-2004-26

総発売元 **株式会社 バイオ・メディカ**

〒550-003 大阪市西区京町堀2丁目2-10

TEL 06-6443-9666 (代) FAX 06-6443-3491

E-mail info@bio-medica.co.jp